

平成29年6月1日

No 17 - 157

株式会社 伊予銀行

「伊予銀行地域文化活動助成制度」の第52回助成団体を募集します！

～ 地域文化の発展・向上のお手伝いをいたします～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、第52回「伊予銀行地域文化活動助成制度」の助成団体を募集いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度では、平成4年1月の制度創設以来、郷土芸能・創作芸能・音楽・文芸・郷土史・生活文化など各分野にわたり合計1,088団体に、総額2億644万円の助成金を贈呈しております。

記

○目的

地域における「草の根」の文化活動全般について、その活動経費等に対して助成を行い、地域文化の向上に寄与することを目的としております。

○募集期間

平成29年6月1日（木） ～ 平成29年7月21日（金）

○応募方法

別紙「助成応募要領」の助成申請書に必要事項をご記入のうえ、活動の様子がよくわかる写真や資料を添付して、最寄りの当行本支店へご提出ください。なお、「助成応募要領」は店頭に備え置いているほか、当行ホームページ（http://www.iyobank.co.jp/about_iyo/csr/environ/bunka.html）よりダウンロードすることができます。

○助成対象要件

- ・愛媛県内において活動を行っている団体・グループ
- ・地域に密着した住民参加型「草の根」文化の伝承活動を行っている団体・グループ
- ・原則として10年以上の継続した活動実績を持つ団体・グループ

以 上

「伊予銀行地域文化活動助成制度」の概要

○制度の趣旨

地域文化の発展と向上にお役に立ちたいとの願いから、愛媛県内で伝統性のある草の根的な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

○助成団体の選考

伊予銀行文化振興顧問団(委員長 愛媛大学名誉教授 三木吉治氏)のご意見を参考に、ご応募いただきました団体の中から助成団体を決定いたします。助成決定までの審査期間として、募集締切から3か月程度のお時間をいただきます。

○助成制度のスケジュール

原則的には、次のスケジュールに沿って年2回の助成を実施いたします。

	上 期 分	下 期 分
募 集 期 間	12月～1月下旬	6月～7月下旬
審 査 期 間	2月～3月	8月～9月
顧 問 団 会 議	4月	10月
助 成 金 贈 呈	4～5月頃	10～11月頃

伊予銀行ホームページに、本制度に関するメニューを設定しております。
くわしくは、そちらをご参照ください。

応募要領、申請書も掲載しております。ダウンロードしてご利用ください。

<http://www.iyobank.co.jp>

以 上

伊予銀行地域文化活動助成制度 助成応募要領

～ 地域の文化活動をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で
潤いと活力ある地域の明日を創ります

平成 29 年 6 月

伊予銀行地域文化活動助成制度のご案内

趣旨

本制度は、地域文化の発展と向上にお役に立ちたいとの願いから、愛媛県内で歴史的重要性や伝統性等に優れた「草の根的」な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

応募方法

後掲の「地域文化活動助成申請書」にご記入の上、最寄りの伊予銀行の支店窓口にお申込みいただきます。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

応募期間とスケジュール

年2回のサイクルで募集を行います。

【 募集期間 1回目：12月～1月下旬 2回目：6月～7月下旬 】

助成決定までの審査期間として、募集締切から3ヶ月程度のお時間をいただきます。

申請書類提出	最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。
書類審査	支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。この時点で要件に満たない場合は、お断りすることもあります。ご了承ください。
面談・ヒアリング	活動内容に関して詳細をヒアリングさせていただきます。
文化振興顧問団会議	県内有識者により、活動内容についての検討・審査を行います。
助成決定	助成金額は、活動内容や実績、助成事例等により決定されます。
選考通知	選考結果は、各推薦店を通じてお知らせします。
助成金贈呈	贈呈式は、松山市内の会場で行います。
活動報告書の提出	助成活動完了後、報告書をご提出いただきます。

伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて

愛媛県内の有識者からなる「伊予銀行文化振興顧問団」を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

氏 名	現 職
三木 吉治 氏	愛媛大学名誉教授
客野 久子 氏	えひめDV被害者サポートセンター代表
新居田 大作 氏	今治地方文化交流会会長
竹田 美喜 氏	松山市立子規記念博物館館長
森 正康 氏	愛媛県文化財保護審議会委員（元松山東雲短期大学教授）
大本 敬久 氏	愛媛県歴史文化博物館専門学芸員

助成要件

1. 愛媛県内で活動する団体・グループで、原則として10年以上の活動実績を持つこと。
2. 地域に密着した住民参加型「草の根」文化を伝承していること。
3. 次の基準項目に照らして総合的に優れた特性を有していること。

【歴史的重要性】【伝統性】【芸術性】【成長性】【独創性】【公共性】【継続性】

4. 次の事項に該当しないこと。

- (1) 個人的趣味・稽古事の延長である。
- (2) 営利を目的としている。
- (3) 行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。
- (4) 特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。
- (5) 反社会的勢力との関連がある。
- (6) ボランティア・福祉的色彩が強い。(NPO団体も含む)
- (7) 規約・活動計画等の組織的態勢を有していない。

具体的活動事例

分 野	活 動 事 例
音 楽	コーラス・器楽・邦楽等
美 術	絵画・版画・彫刻・写真等
演 劇	ミュージカル・演劇等
文 芸	俳句・短歌・川柳等
郷 土 芸 能	獅子舞・鹿踊り・神楽・歌舞伎・伝承踊り等
創 作 芸 能	創作太鼓・創作舞踊等
郷 土 史	郷土史・民俗学・考古学の調査研究書の出版等
国 際 交 流	文化振興を目的とした国際交流活動等
生 活 文 化	地域の発展向上に寄与する生活文化の習俗継承等
自 然 科 学	ホタル保存等の自然環境保全に関する調査研究等

その他

1. 助成金使途は、活動に関する道具類の購入や催物等の実施経費の一部とします。
2. 助成金の贈呈は、原則として1団体（グループ）につき1回限りとします。

ただし、前回の助成から10年以上経過し、その後、発展的活動状況が見られる場合に、再助成させていただくことがあります。その場合の助成金使途は、周年行事等の特別行事に限らせていただいております。

申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

	団体あるいはグループとして複数人数で活動している。	YES・NO
	地域に根ざした文化の伝承活動を行っている	YES・NO
	10年以上の定例的かつ継続的な活動実績を持ち、活発に運営されている。	YES・NO
	過去10年間に本制度による助成を受けたことがない。	YES・NO
	趣味やお稽古事の延長ではなく、またレクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。	YES・NO
	ボランティアや福祉の分野ではなく、伝統性のある文化的な性質を持った活動を行っている。	YES・NO
	地域おこしや人集めのイベント開催に終始せず、文化的要素を含む活動を行っている。	YES・NO
	営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。	YES・NO
	特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。	YES・NO
	役員等を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。	YES・NO
	地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。	YES・NO
	連盟や協会等の事務局的な活動ではなく、会員自らが自主的・創造的に活動している。	YES・NO
	規約や役割などが明確で、組織として構成されている。	YES・NO
	年間の活動計画および収支計画が明確である。	YES・NO
	助成を申請する事業の収支計画が明確である。	YES・NO
	活動を次代へ継承していくための具体的方策（後継者対策等）を講じている。	YES・NO

上記はあくまでも目安の一部です。ぜひ、お近くの伊予銀行へご相談ください。

なお、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

・・・お申し込みの際に必要な書類・・・

下記書類を最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。

1. 地域文化活動助成申請書 全4枚
(申請書は当行ホームページ【<http://www.iyobank.co.jp>】からダウンロードすることもできます。)
2. 活動内容について掲載された資料がある場合はA4サイズのコピー
3. 活動状況を撮影した写真 5枚以上
4. 活動状況を撮影した画像・映像がある場合は、CD・DVD等の記録媒体(後日返却いたします。)

・・・「地域文化活動助成申請書」記入上の留意事項・・・

1. 【団体名】【代表者氏名】には、必ず『ふりがな』をお付けください。【代表者役職】は、「会長」や「代表」など、団体における役職をお書きください。
2. 「 - 3. 実施時期」は、申請活動の開催日(予定日)をお書きください。
3. 「 - 4. 実施場所」は、会場名や神社名などわかる範囲で詳しくお書きください。
4. 「助成希望金額」は、「 - 5. 本年度活動収支計画」の不足額を目処として万円単位でご記入ください。

・・・ご不明な点がございましたら下記までお問合せください・・・

〒790-8514 松山市南堀端町1番地 伊予銀行 広報CSR室
. 0 8 9 - 9 4 1 - 1 1 4 1

地域文化活動助成申請書

平成 年 月 日

株式会社 伊予銀行 殿

下記の活動・催物等を実施するにあたり、貴行の助成を申請します。

ふりがな

【団 体 名】

ふりがな

【代表者役職】

【代表者氏名】

印

【助成金使途】

【助成希望金額】

万 円

・団体の概要

1. 連絡先（団体所在地 または 代表者連絡先）

住 所 〒 -

電話番号 （ ） -

（携帯電話番号

）（メールアドレス

）

（上記が代表者連絡先でない場合）

団体における役職名

ふりがな
氏 名

2. 会員数 男 性 名 / 女 性 名 / 子 供 名 / 合 計 名
年齢構成 歳 ~ 歳 （中心は 歳代） （大人中心 / 子供中心）

3. 団体設立年月 または 活動開始年月 M ・ T ・ S ・ H 年 月

4. ホームページ <http://>

5. 設立の経緯（なるべく詳しくご記入下さい。）

〔獅子舞などの伝統芸能分野の場合、発祥や起源などの由来・歴史的背景があればご記入下さい。〕
〔地域の言い伝え等でも結構です。市町村誌等の資料がある場合はコピーを添付して下さい。〕

6. 活動の目的

・ 普段の活動状況について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

< 4-2 >

1．定例的な活動（催しやイベント出演等、定例的な活動）

2．定期練習（会合）状況

期 間： 月 日 から 月 日 まで もしくは 通 年

回 数： 月 ・ 週 回 / 時 から 時 まで

場 所：

指導者： 職業または勤務先 氏 名

練習・活動内容（参加率なども含めて具体的に）

3．過去の活動状況（上記以外の主な活動，時期・場所・催事名など）

4．活動の中で特長的な事柄や特色、アピールしておきたい点

獅子舞など伝統芸能・創作芸能で演目がある場合は、名称・あらすじ・内容について
独創的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点について

5. これまでに苦労した事・感動した事・印象深い出来事など

6. 今後の目標など

7. 後継者対策（会員獲得）のため実施していること

・助成を申請する活動・催物等について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

1. 申請する活動・催物の名称

2. 助成金使途（助成金の使い道について）

3. 実施時期（予定でも可）

年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）

4. 実施場所（会場や神社などがあればその名称）

5. 本年度活動収支計画（本申請事業を含んだ年間の収支予想をご記入下さい）

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会員年会費(@ 円)			
合 計 (A)		合 計 (B)	

不足額 = (A) - (B) =

円

6. 助成希望金額

万 円

7．申請する活動・催物等について

道具・衣装の新調（修繕）の場合は、対象物の現状や個数、新調（修繕）理由について。

各種演奏会や芸能発表会等の場合は、テーマ(コンセプト)・ステージ構成・曲目内容について。

各種記念誌発行の場合は、具体的な構成・内容・発行部数・配付先などについて。

8．申請する活動・催物等について、特色（特に力を入れていること）があれば。

9．この制度を何でお知りになりましたか。